

令和6年度 事業報告書 北いきいき市民活動センター

【指定管理者：NP0 法人くらしネット21】

1. 管理運営の状況

1 施設運営業務

(1) 職員体制

センター長 1 名、職員 常勤 2 名、非常勤 11 名

【人材育成の取組】

- ・提案業務にかかる各実行委員会やイベント・研修会への積極的な参加を促す。
- ・共生館各団体へ出かけての研修会・交流会の実施。
- ・毎月の職員会議で、コンプライアンスやハラスメント防止について職員の意識の向上をめざす。

(2) 貸館等

ア 利用件数

(月別)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
288	312	318	299	266	275	288	284	261	258	280	288

(年間) 3,417 件 (前年度比 92.9%)

イ 利用状況

- 障がい者から児童生徒・学生団体・高齢者まで、幅広い年齢層の利用がある。
- 長時間利用する団体があり、20 時間の枠の弾力的運用が必要となっている。

ウ 利用促進に向けた取組

- センター紹介パンフレットをよりわかりやすくリニューアル。

エ その他

- サロンは なし。

(3) 情報発信等

ア 取組実績

- HP を随時更新。抽選会のお知らせだけでなく、センターでのイベント情報など双方向の情報発信に積極的に取り組み、YouTube にイベントの様子を動画で配信。
- 共生館団体 (HAPS・天才アート・楽只児童館・ツラッティ千本・保育所) との施設連絡会を毎月開催し、各取組に加えてまちづくり・人づくりの共有を行う。

イ 取組の効果

- 障がい者団体・高齢者施設とのつながりが深まり、利用団体の増加につながっている。

(4) 管理運営

- 共生館団体 (HAPS・天才アート・楽只児童館・楽只保育所・ツラッティ千本) との施設連絡会を毎月開催し、各取組について消防計画等管理運営の共有を行う。

(5) その他

- 「施設運営の質を高めるための取組」や「将来に向かって地域と共に進化するための取組」
 - ・コンプライアンスや人権についての職員研修の実施。
 - ・地元にある高齢者施設「紫野」「ふなおか」との連絡会の実施。
 - ・地元楽只学区社会福祉協議会に加えて紫野社協との連携強化を図る。

【事業名】団体交流「いきいき市民活動祭」

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 9 月 28 日（土）10 時～12 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 多目的ホール
- 3 参加人数： 100 名（11 団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只社会福祉協議会・楽只保育所・楽只児童館等）
- 5 予算：400,000 円 / 決算：379,307 円

1 事業内容

- 北いきいき市民活動センター利用団体による、音楽やダンスなどのパフォーマンス、児童館保育所との交流の場を設け、各団体の常々の活動や練習の成果を存分に発表してもらう祭典。

- ・センター利用団体の発表と交流 ダンス・音楽の発表と交流
- ・幼児児童とお年寄りとの交流 簡単な手遊びゲームや運動

2 準備段階での工夫

- ・実行委員会に発表団体代表者の参画をはかるように工夫する。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- ・北イキセン利用団体間の交流・学習・運営の場を促進する。
- ・共生館共用施設間の交流・発表・協働制作などを通じた総合芸術文化祭を催し、地域の活性化とまちづくり人材を発掘・育成する。
- ・地域団体・高齢者・障がい者・児童を招待・交流することによって、地域福祉貢献事業としても発展させる。

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・各利用団体とも、普段の練習の成果を十分に披露していただくことができた。
- ・筑前琵琶の語りは普段なかなか聞く機会のないもので、興味深く聞き入っておられた。
- ・介護予防センターの健康体操も、会場一体となり、効果的であった。
- ・児童館の子どもたちによる生活発表やクイズも、和やかで好評であった。
- ・「あたたかい雰囲気ですりつけもかわいく、わいわいとにぎやかな活動祭だった。」
- ・「認知症で閉じこもりの方のカフェコーナーなど今後工夫したい。」
- ・「地域交流イベントとして定着し、地域の歴史ほっとステーションとして発展させたい。」

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったこと
- ・各利用団体の発表・交流に終わらせず、活動の様子や運営上の悩みなども話し合える活動祭にできればと考えている。
- ・発表のしやすい文化系のサークルや団体には声をかけやすいが、スポーツ系の団体のイベント交流も更に進めたい。できるだけ幅広い利用団体の様々な交流を図る工夫を凝らす。

アンケート 集計 (市民活動祭 実施日 9/28 日 回答数 77)						
アンケート項目	よかった		ふつう		どちらでもない	
①市民活動祭に観覧・出演して。	68	89%	8	10%	1	1%
②市民活動祭に楽しめたか。	70	91%	5	6%	2	3%
③他の出演者やお客様との交流ができましたか。	36	47%	25	32%	16	21%
④また次の機会に参加したいと思いましたか。	61	79%	12	16%	4	5%
■その他、お気づきの点やご意見など						
催し全体、進行について…						
・皆様ごくろうさまです。来年もたのしみにしています。・今後もお願いいたします。						
・センター内での活動・内容をもっと地域に教えて欲しい。敬老会についてももっと地域に伝えてください。						
・ありがとうございます。皆がたくさん参加できるようにすみずみまでビラが配られることをお願いします。						
・毎年たのしみです。本当にありがとう!!・楽しかったです。お子さんはかわいかったです。						
・初めて呼びいただきありがとうございました。日頃お会いできる高齢者の方もおられ、楽しく参加できました。						
・早くから準備等ありがとうございました。参加させていただいて楽しかったです。						
・小さなお子様もいられましたが、興味をもって聴いてくれたのが、嬉しかったです。						
・いろいろな方の出演、最後まで楽しませてもらいました。スタッフの方、お世話ありがとうございました。						
会場について…						
・あたたかい雰囲気がかざりつけもかわいく、わいわいとにぎやかな活動祭だったと思います。楽しかったです。						
・マイクが聞こえにくかった。・マイクの声がこもって聞き取りにくい						
・靴をはき替えなくて良かった。・左のビルにいつてしまい迷ってしまった。						
ダンスや踊り演奏について…						
・子どもたちのダンスが大変良かったです。吹奏楽の音楽がとてもよかったです。						
・楽しく演奏させていただきました。ありがとうございました。						
・本日は出演させていただき、ありがとうございました (CATS)。来年もまた来たいです。						
・いつもおまねきいただきありがとうございます。						
・太鼓の出演楽しかったです。						
・子どもたちも参加しましたが、たくさんの人が見て下さっていたので、緊張していました。						

・子どもたちが興味を持ちそうな演目があれば、見たい子どもだけでも一緒に見させてもらえたらいいなあと思いました。
その他…
・健康でありつづけるようにがんばりたいと思います。
・いつも練習場所ありがとうございます（CATS）。 ・次回は少し説明をわかりやすくしたいと思います（CATS）。
■今後おこなってほしいイベントや活動
・吹奏楽団 ・しゅーとのフュー ・和太鼓 ・演奏会（参加したい）
・昔のいきセンのように、お食事やおやつの手作り教室やお食事会。
認知症で閉じこもりの方へのカフェなどあれば…ぜひ協力させていただきたいです。
・地域交流イベント、楽しいと思います！ ・音楽などを演奏してほしい。
・大変と思いますが、今回のようなイベントを続けてください。
・人形劇など子ども向けのイベントがあれば、参加したいです。

事業風景の写真



【事業名】地域交流「いきいき楽ちゃんフェスティバル」(いきいき総合芸術文化祭)

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 8 月 10 日（土）17 時～21 時
- 2 開催場所： いきいき市民活動センター 楽只保育所園庭
- 3 参加人数： 700 名（団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只社会福祉協議会・児童館・保育所・FUNAGORA）
- 5 予算：500,000 円 / 決算：496,753 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
イキセン利用団体の中から、ダンス・音楽交流と盆ダンスの総踊り。
子ども神輿の実施。楽只・紫野社協、共生館団体による協力出店の実施。
- 評価委員会から指摘された事項
ふれあい共生館内の団体の積極的な参加と交流により、独自性の高い事業をめざす。

2 準備段階での工夫

- 実行委員会には多くの団体が参画し、参加者主体を目指した多くの意見をいただくことができた。地域の中学生高校生によるボランティア参加ができた。
- HP・ラジオミックス・北区社会福祉協議会によるアナウンス効果により、参加者が飛躍的に増えた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたこと。
 - ・北いきいき市民活動センター利用団体を中心にダンス等の表現活動の発表と交流の場を設け、地域の方々の参加も定着し、市民活動のさらなる活性化を促す。
 - ・活動紹介のブースを設置し、各利用団体のつながりを促す。
 - ・ふれあい共生館の知名度アップと参加者の行動化の促進。
 - ・実行委員会による運営を行い、地域の活性化とまちづくりの担い手を育成する。

(2) 事業実施による目標の達成度

- 昨年度より参加も増え、幅広い年齢層の参加を得ることができた。
みこしを担ぐ体験ができ、フェスティバルが盛り上がった。
- アンケート結果などから代表的な意見等
 - ・お客さん参加型の出し物があれば、さらに楽しくなるのかと考えている。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・中学生高校生のボランティア参加ができたことにより、フェスの雰囲気が若々しくなり、次年度につながった。
 - ・「盆踊りの練習をもっとしたい。」という声もあり、練習を定期的実施する活動の支援。

夏祭アンケート集計 ※8/21 出店 11／児童館 10／保育所 10／FDF10／暖音 2／佛大紫踊屋 5／PP2／保存会 3 総数 43

アンケート項目	よかった		ふつう		どちらでもない	
①夏まつりに出演または出店して。	38	88%	5	12%	0	0%
②夏まつりを楽しめたか。	37	86%	5	12%	1	2%
③他の出演者やお客様との交流ができたか。	23	53%	9	21%	11	26%
④また次の機会に参加したいと思ったか。	37	86%	3	7%	3	7%
■その他、お気づきの点やご意見など						
・全般について…						
・子どもさんが多く来てよかった。 ・たのしかったです。 ・ いつもありがとうございます ・						
・大変良かったです（保存会）。 ・ 楽しく祭を過ごしました。 ・ 楽しかった。						
・ 昨年より参加者が増え、当日を楽しみにされている方も多かった。						
・ 会場について…						
・ 風がきつくてモノが飛んでた。イス、テーブルが少なすぎる（お店関係の人たちが最初からずーっと陣取ってた）。						
・ 盆踊りは櫓があった方がいいかなと思います！						
・ 砂がすごかったです。昨年もこうだったかな？と思いました。「わたあめ」が「すなあめ」に…泣。						
・ 昨年より来場者が多かったと思いますが、お店を出すスペースが狭くテントひとはり分、欲しい。						
・ 当日の準備、片付けもスムーズにできていた。						
・ 出店する飲食の種類が増えてほしい。						
・ ダンスや盆踊り（プログラム）について…						
・ 楽しい時間が過ごせました。また機会があればよろしくお願いします（お囃子）。						
・ 舞台は緊張しましたが楽しかったです。次回はもっと楽しめたらと思います（お囃子）。						
・ マイクの音が通らなくて息が辛かったです（保存会）。						
・ もっと踊りの練習会をしてほしいです。 いつかマスターしたいです。よろしくお願いします…！！						
・ 楽只小卒業生の写真を映し出すのがよかった。						
・ お客さんが近くて緊張した（3名）。						
・ 踊れて楽しかった。 ・ 緊張した。 ・ サイコー！！						
・ 盆踊りの時間が長い（15分程度）。						

・その他…
・暑いので時期を考えてみては…？
・子どもチケットのホッチキス止め（外した時）が危ない
■今後おこなってほしいイベントや活動
・ハロウィン、月見など、なんなり参加させていただきます。 ・子どもが喜ぶイベント
・お客さん参加型の出し物があれば、さらに楽しくなるのかなと思いました。
・盆踊り（３） ・秋祭り ・X'mas 会 ・スポーツ大会

事業風景の写真



【事業名】福祉体験交流「体験してみようニューパラスポーツの世界」

事業の概要

- 1 開催日時： 2025年3月15日（土）13時～16時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 多目的ホール
- 3 参加人数： 50名 スタッフ30名
- 4 協力団体等： 実行委員会
(京都ライトハウス アイアイ教室 FDF 放課後等デイサービスさんりん舎等)
- 5 予算：300,000円／決算：295,711円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・FDF ダンスチームによるダンス（準備の運動）
 - ・車いすバスケットに慣れる。（大学車いすバスケットチームの紹介と追いかっけこなど）・車いすバスケットボールのお話
 - ・車いすバスケットの体験。（車いすの体験からミニゲームの実施まで）
- 評価委員会からの指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
 - ・地元佛教大学サークルの協力サポートによる開催。
 - ・健常者が車いすを手段にバスケットボールをするスポーツで、健常者と障がい者の活動と心の距離がとても近く新鮮だった。

2 準備段階での工夫

- 実施に向けてプログラム等佛教大学サークルによる支援をいただいた。
- 他センターにはない独自の広報の工夫。
 - ・プレスリリース等佛教大学学生支援課からも支援をいただいた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・車イスユーザーとノンユーザーが同じコートで競い合い、今までの障がい者理解を超えた車いすバスケットボールを通しての体験・交流会をめざす。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1)の達成度について
 - 「パラスポーツのつどい」に、子どもから大人、運動機能・視覚に障がいのある人をはじめいろいろな人たちがつどい交流することができた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
 - ・思っていたより上手く車イスに乗ることができた。
 - ・声を掛け合って、ゲームが楽しかった。
 - ・車イスからたくさんシュートができた。 など

4 今後の抱負

- ・多様な参加者があり、チーム分けに工夫が必要。
- ・佛教大学車いすバスケットボール部と連携して、定期的に交流会・体験会ができるようにめざす。

「パラスポーツのつどい」 3月15 (土)



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

事業②計画①

【事業名】「船岡山ストリート」まちづくりワークショップ

※事業ごとに、簡潔に作成してください。

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 10 月 3 日（木）13 時～14 時 他 4 回
- 2 開催場所： 楽只児童館・船岡西通り
- 3 参加人数： 延べ 100 名 スタッフ 50 名
- 4 協力団体等： 実行委員会（社協（交対協）、児童館、保育所、親の会・ライトハウス）
- 5 予算：185,000 円 / 決算：164,669 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・船岡山に関わる関連施設や北土木事務所をはじめとする関係機関の協力を得ながら、船岡山西通りを教育ストリートとして構築するプログラムとする。
 - ・事業の 3 年目として、各団体協力して外灯も設置し、また「美しい・気持ち良い」一斉清掃を実施する。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・児童館や保育所の子どもたち、保護者の思い・意見を尊重し、前庭を整備する活動ができた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- ・HAPS や MONAKA などの関連施設とのまちづくり・人づくりの協働活動を進めることができた。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。
 - ・西通りのありようについて利用者だけでなく、全ての地域の方々が普段から関心を持っていただくことができるようになった。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。

「外灯の設置により児童館の入り口が明るくなって、夜も安心できる。今後も継続して保護者の意見を伝える場を設けていきたい。」

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・北区の安心安全ネット事業をはじめ、船岡山公園パークアップ事業とも連携して、公園や周辺を活用した多様なマネジメントにも支援を行う。

事業風景の写真

○ こどもも大人も 植え込みの整備



共生館施設も参加しての清掃活動



地元の方・保護者と西通りワークショップ



【事業名】「紙屋川開キ町たんけん」

※事業ごとに、簡潔に作成してください。

事業の概要

- 1 開催日時： 2024年5月 ～ 12月 計20回
- 2 開催場所： 砂防ダム・楽只児童館・ハップススタジオ等
- 3 参加人数： のべ200名
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只児童館・ハップス・アーティスト）
- 5 予算：190,000円 / 決算：184,544円

1 事業内容

- 事業の内容 5月 アイの植え付け
- 6月 水やり
- 8月 いきいき楽ちゃんフェスティバルに出店
- 11月 「ふれあい児童館祭」に「ちぎり絵」の工作コーナー
- 12月 紙すき体験会
- 2月 すいた和紙で美濃市の保育所にお手紙を書く。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
- 児童館でのPRにより、保護者の参加・協力も見られるようになった。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
- ・トロロアオイの栽培から取り組み、和紙ができるまでの自然との関わりを知ることができた。
- ・生活の身近なところにある開キ町の自然の恵みと脅威に触れ考えることができた。
- ・HAPSアーティストによる継続した取組となっている

(2) 事業実施による目標の達成度

- ・初めて和紙作りに参加した児童も多く、大変興味深く取り組んでいた。
- ・特に、紙屋川での活動は、身近に自然を感じ楽しく体験することができた。

4 今後の抱負

- トロロアオイの栽培から収穫、紙すきに至るまで、継続して行うことができた。
- 作成した和紙から手紙の作成まで、大変有意義な活動だった。今後、栽培の日程や成果物の発表については、より計画的に進めていきたい。

紙すきの体験



【事業名】「盆踊り保存会」(市民活動支援)

事業の概要

- 1 開催日時： 2024 年 6 月 ～2 月 計 8 回
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 多目的ホール・園庭 等
- 3 参加人数： のべ 80 名
- 4 協力団体等： 実行委員会（保存会・社会福祉協議会・楽只児童館）
- 5 予算：450,000 円 / 決算：449,538 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・音頭練習 6 月から開始
 - ・江州音頭 踊りの講習会 （保育所・児童館・イキセン）
 - ・「いきいき楽ちゃんフェスティバル」で披露 8 月
 - ・「市民活動祭」で披露 9 月・反省会 来年度へ向けて 10 月
 - ・音頭とりや太鼓方の募集と育成 2 月
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。
 - ・多世代の交流の機会として、踊りの練習会や（音頭）太鼓の体験会を実施。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたこと
 - ・今宮神社みこし会にも協力いただき、フェスティバルの音頭が大いに盛りあがった。
- 他センターにはない独自の広報の工夫
 - ・クチコミが中心で、SNS 活用の情報戦略が今後の課題。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
 - ・音頭取り集団の育成と千本における踊り文化の継承に取り組む保存会の定期活動を支援する。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について
 - ・700 人規模の一大イベントに成長する中で、次代を担う音頭取りの人材が育ちつつあるものの、リーダー・世話役等の継承が見過ごせない。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
 - ・「やってみたい」という人はおられるので、いつでも受け入れられる窓口を設ける。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - 伝統文化・芸術であふれた共に生きる喜びのまちづくりを進める保存会をめざす。
 - 他地域との交流ネットワークづくりをどのように進めていくかが課題。

事業風景の写真

- 写真は、事業風景がよく分かるように、できる限り大きくしてください。
- A4サイズ1枚までとしてください。

① 練習風景



② 児童館の子どもたちと踊りの練習



③ 「いきいき楽ちゃんフェスティバル」



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

事業②計画④

【事業名】『千本の赤』人権教育絵本・マンガプロジェクト（地域の歴史・人権本）

※事業ごとに、簡潔に作成してください。

事業の概要

- 1 開催日時： 2024年9月 ～ 2月（計16回）
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： のべ200名（団体）
- 4 協力団体等： 実行委員会
- 5 予算450,000円 / 決算： 431,688円

1 事業内容

○ 事業の内容（①②NPO くらしネット 21 の独自事業への支援）

①「京都本」版としての「ラクシノクラシ」の編集について、編集にかかわる資料収集・情報提供、取材協力サポート、製本作業サポート等を支援する。「京都」の特徴や良さとしての「観光」「大学」のまちや「駅伝発祥」のまちの要素（日本初となる京都から上野までの駅伝大会や小学生大文字駅伝・全国高校生駅伝・全国女子駅伝を軸としたマップ作成やポイントの紹介等）を支援する。

②共生館 HAPS の作家（アーティスト）と協働し、子ども向け絵本「千本の赤」の大人向けマンガ化をめざす活動を、オープンラーニング（中世の部落史を見直し深める講座）としてイキセン利用者に広く発信していくように支援する。

2 準備段階での工夫

- 楽只小学校 OB 教員にも呼びかけ、アドバイスをいただくことができた

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果，目標等

- マンガ化プロジェクトの編集会議を支援する中で、HAPS アーティストによる積極的な関わりが見られた。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度
 - ・12月 絵本「千本の赤」の増し刷りに向けて編集・校正を支援。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
 - ・「千本の赤」の見直しを通して、中世の河原者の生活について理解が深まった。
 - ・共生館が旧楽只小学校跡地の複合施設である利点を生かし、各施設はもとより各施設の利用者の幅を広げ、利用者間の新しいつながりを構築する。

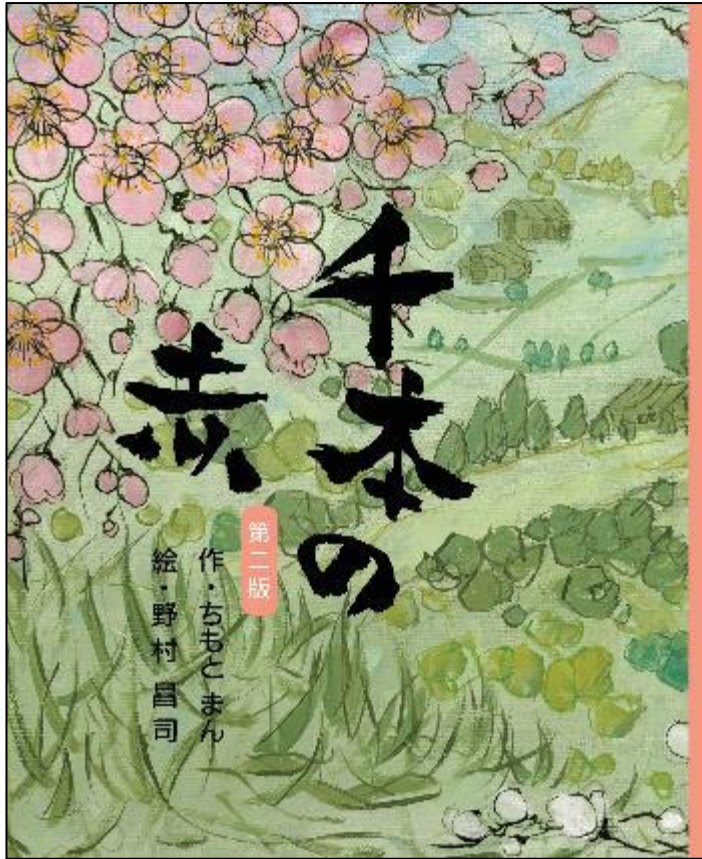
4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

冊子「ラクシノクラシ」を、「マンガ」や「絵本」・「京都本」をとおして現代を生きる人々の様々な人権問題と多文化共生の観点から教育資料・教材として活用していく。

事業風景の写真

- 写真は、事業風景がよく分かるように、できる限り大きくしてください。
- A4サイズ1枚までとしてください。



「絵本 千本の赤」3000部 増刷

第二版

(独自事業② 資料)

千本地域を中心に人権都市京都をめぐるガイド情報誌

事業提案者 NPO 法人 くらしネット 21

「仮 ラクシノガイド ～人権都市京都をめぐる～」の発行

編集方針：

反戦＝広島（原爆ドーム＝中心核）→人権＝京都（千本共生館＝中心核）

- ▶世界的人権都市、京都（北部を中心に）の新たな価値観を創造。
- ▶これからの国際人に必要な社会的ポリシーが詰まった
知的志向層にむけた指南ガイド（国際常識 SDGs＝人権尊重の精神）
- ▶史跡を紹介するガイド情報誌＋人権アイデンティティ。

ターゲット：

国内外を問わず京都を訪れる観光客 未来創造の担い手

- ▶国内と世界各国の観光客や人権に携わる知識人
- ▶国内と世界各国の学生や人権を学ぶ次世代層

巻頭の企画案 人権をキーワードにした読み物企画（例）

- ▶現代の世界が抱える人権問題のクローズアップ 各国
 - ※戦争と難民 ※人種と差別 ※民族間の歴史的軋轢など
 - ※ 図解でわかる客観的データ ※学者さんの見識（寄稿？取材？）
 - ※ 中和的存在「移民」の歴史と文化
 - 現代へつながるロマンと歴史的継承 シルクロードなど
- ▶お客様へのもてなし（料亭女将主人から寄稿 ex 萬重さんなど）
 - 平和と人権につながる世界的用語「おもてなし」を掘下る
- ▶人権がテーマやメッセージに込められた世界の映画
 - ※ エレファントマン ※天使にラブソング ※半地下の家族など
- ▶世界の注目「日本アニメが魅力的なワケ」登場人物の生立ち・階級
 - ※ 鬼滅の刃 ※本好きの下克上、※地獄楽、もののけ姫など

【事業名】「子どもの教育支援ボランティア養成」(子育て支援活性化事業)

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 1 月 ～ 2 月 10 回
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室・楽只児童館等
- 3 参加人数： のべ 200 名
- 4 協力団体等： 実行委員会（楽只児童館・佛教大学教育学部後藤・堀家ゼミ）
- 5 予算：101,680 円 / 決算：101,591 円

1 事業内容

○ 事業の内容を具体的に記載してください。

① 支援の必要な子どもへの理解と支援のあり方について理解を深める。

- ・児童生徒の理解の基本や障がいのある子どもへの理解
- ・子どもの学習習慣や基本的な生活習慣の定着について
- ・集団活動や仲間づくりの基本について
- ・近隣小学校での授業参観と指導案の作成などの体験

② 地域活動や市民活動のボランティアとしての実践力を身につける。

- ・子どもたちと書き初めや昔の遊び大会など、一緒に楽しむ。
- ・園庭を使つての小中学生の集団スポーツ活動を通したコミュニケーション能力の向上。

○ 評価委員会から指摘された事項。

- ・佛教大学教育学部後藤・堀家ゼミと協力し、引きこもりやひとり親家庭の子どもといった地域の課題についての活動を支援する。

2 準備段階での工夫

○ ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。

佛教大学教育学部後藤・堀家ゼミから、多数の学生の支援をいただいた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

○ 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。

- ・支援の必要な子どもへの理解と支援のあり方について理解を深めることができた。
- ・大学生の将来展望を確かにする、教育と福祉のボランティアの重要性への理解を深めた。
- ・地域活動や市民活動のボランティアとしての実践力を身につけることができた。

(2) 事業実施による目標の達成度

○ (1) の達成度について自己分析し、記載してください。

- ・学習だけでなく、遊びをとおして子どもとの関係を深めることができた。

○ アンケート結果などから代表的な意見等

- ・遊びを通して、子どもとしっかり関わる時間を設ける。

4 今後の抱負

○ 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

佛教大学をはじめ近隣の大学にも呼びかけ、教員養成・教育ボランティア活動を支援する。

事業風景の写真

- ① 支援の必要な子どもへの理解と支援のあり方について話し合う



- ② 新年の書初め大会



- ③ 「一緒にバスケットしようよ」(夜間の開放)



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

事業③計画②

【事業名】「わんぱくキッズプログラムボランティア指導員養成」(タグラグビー)

※事業ごとに、簡潔に作成してください。

事業の概要

- 1 開催日時： 2024年6月9日(土) 10時～12時 9月22日 11月10日 12月9日
- 2 開催場所： 楽只保育所 園庭
- 3 参加人数： 各回20名程度
- 4 協力団体等： 実行委員会(楽只児童館・楽只保育所・体育振興会等)
- 5 予算：475,000円 / 決算：474,988円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

- ・ラグビーボールに触れ、パスやタグ取り等集団スポーツの楽しさを体験する。
- ・簡単なゲームをする。

(当日のタイムスケジュール)

8:30 スタッフ集合 10:00 開会 準備運動 体験活動 12:00 閉会 後片付

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。

京都市タグラグビー協会からも、指導者の派遣等協力をいただいた。

- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
- ・タグラグビーをメインとする朝鮮初級学校とのスポーツ交流を通じた継続的な取組によって、多文化共生の理解を深める。
- ・2月実施の全市レベルの「ユースエア」の活動につないでいく。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1)の達成度について自己分析し、記載してください。
- ・参加者同士の交流ができ、保護者の中にも自立したクラブ化への意識が高まってきた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
- ・小学校でのクラブ活動・放課後活動が減少していく中で、楽只児童館では外遊びの時間にタグラグビーを楽しむことから、クラブ化に向けた継続的 をめざす。
- ・広い園庭を力いっぱい走る姿が頼もしい。(保護者)
- ・子どもなりにパスなどもよく考えてプレーしている。(ボランティア)

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
- ・継続的クラブ化のためにも、「親の会」の自立的・日常的な活動への支援。

事業風景の写真

ねんど だい かい がつ か にち
【2024年度 第1回】 6月9日（日）
きょうせいがん たいけんかい
ふれあい共生館 タグラグビー体験会



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

事業③計画③

【事業名】「地域高齢者見守り・声かけ活動ボランティアリーダー養成」(楽ちゃんキッズデリ)

※事業ごとに、簡潔に作成してください。

事業の概要

- 1 開催日時： 2024年11月16・30日(土)10時～12時 12/7・21 1/18・2/1
- 2 開催場所： 楽只学区内
- 3 参加人数： 各回約30名
- 4 協力団体等： 実行委員会(社会福祉協議会・民生児童委員・老人福祉委員・自主防災会・共生館各団体・学生)
- 5 予算：120,000円 / 決算：117,374円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

NPOくらしネット21と社協が進める地域の独居高齢者への配食サービスと見守り活動を支援し、高齢者の健康・安全を見守り活動を応援しながら、次世代の地域の中高・大学生と共に、社協の地域リーダーの地域高齢者の見守りと声かけ活動のボランティアリーダーの育成を支援する。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。

民生児童委員・老人福祉委員にも呼びかけ、協力をいただいた。

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなど。

世代間交流を目指した企画・運営を支援し、若い世代に継承・発展を促し、自立・自走組織としての継続を支援する。その際、地域の実態に目を向け、顔の見える関係性の構築・災害時の支援体制など地域に働きかける人材育成も視野に、地域福祉を多世代で支援していく。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1)の達成度について自己分析し、記載してください。

・「足が痛いので中に入ってきて」という高齢者から生活の困りごと・支援・相談等もうかがい、見守りや交流が深まってきた。

- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。・「デリと違う日もあいさつができるように街に笑顔が増えてきた。」

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。

・土曜日の午前中はデイサービスに出かけて、不在の方が結構おられる。
・材料費の高騰を受け、今年度から「お弁当代」が値上がりした。
・昼食のお弁当だけでなく、他のいろいろなソウルフードについても、提供できるように工夫したい。そのための料理教室等も計画する。

事業風景の写真

「お弁当をどうぞ」



2. 市民活動支援・活性化事業及びサロン運営・活用事業

事業③計画④

【事業名】「地域福祉ボランティア養成」（共生社会推進支援者養成セミナー）

※事業ごとに、簡潔に作成してください。

事業の概要

- 1 開催日時：2025年2月26日（水）13：30時～15時 3月3日（水）13：30時～15時
- 2 開催場所：北いきいき市民活動センター 会議室
- 3 参加人数：22名
- 4 協力団体等：実行委員会「まのあ勉強会実行委員会」（まのあ・ライトハウス）
- 5 予算：128,320円 / 決算：121,084円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。

「まのあ勉強会」の実施

- ①京都ライトハウスの行う様々な支援について 講師 支援部長
- ②視覚に障害のある子どもへの支援 講師 「あいあい教室」所長
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体に協力いただいたことも詳細に記載してください。
京都ライトハウス・あいあい教室には、施設見学等多大な協力をいただいた。
- 他センターにはない独自の広報の工夫などがあれば記載してください。
近隣の放課後等デイサービスにも呼びかけた。

3 事業実施による効果・達成度

（1）当初の事業効果、目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなどを記載してください。
居宅介護支援事業所「まのあ」と連携・協働し、障がい者が人的交流・芸術的活動に参加しやすい共生館施設として、支援者育成を支援する。

（2）事業実施による目標の達成度

- （1）の達成度について自己分析し、記載してください。
関心が高く、学生・保護者・福祉団体など多様な参加がえられた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
点字図書やガイドの活動について知り、ボランティアについて関心が高まった。

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
・福祉ボランティアや介助ボランティアの養成講座として人材開発・人材確保の支援を進め、福祉のまちづくりと福祉の仕事をマッチングさせ、自立的な活動の推進と自走化に向けて取り組み、「特色ある施設へと進化」を目指す。

事業風景の写真

まのあ勉強会 1 2月26日(水) 13時半～15時 参加者10名
京都ライトハウスの行う様々な支援について 講師 支援部長

13時半～14時
研修「京都ライトハウスってどんなところ」



14時～15時
施設見学



まのあ勉強会 2 3月3日(月) 13時半～15時 参加者12名
視覚に障がいのある子どもへの支援 講師「あいあい教室」所長

13時半～14時
研修「視覚に障がいのある子どもへの支援」



研修
(北いきいき市民活動センター 会議室2)

14時～15時
施設見学



感覚を知る教具
(視覚支援あいあい教室内)

【事業名】「地域の歴史・文化活動ボランティア養成と歴史研究」

※事業ごとに、簡潔に作成してください。

事業の概要

- 1 開催日時： 2025 年 1 月 11・18・25 日（土）13 時～15 時
- 2 開催場所： 北いきいき市民活動センター 会議室 等
- 3 参加人数： 計 45 名
- 4 協力団体等： 実行委員会（地域歴史研究会・正覚寺等）
- 5 予算：450,000 円 / 決算：445,058 円

1 事業内容

- 事業の内容を具体的に記載してください。
 - ・地域の寺院の成立からの移り変わりについて調査研究を支援する。
 - ・地域のお年寄りから、地域の歴史・文化風俗についての聞き取りを行い、アーカイブ化を支援する。
 - ・研究会の主催する報告会(オープンラーニング) を支援する。
 - 「野口村の移転と蓮台の村の成立」
 - 「地域に残る資料の再発見と評価」
 - 「中世河原者「千本の赤」を探る」
- 評価委員会から指摘された事項があれば、その改善点を記載してください。

2 準備段階での工夫

- ボランティアや他団体 京都文化博物館や京都市歴史資料館

3 事業実施による効果・達成度

(1) 当初の事業効果, 目標等

- 事業を実施することで期待される効果や、目標としたことなど。
歴史・伝統のまちづくりを推進し、歴史・文化に関わろうとするボランティア養成を支援する。

(2) 事業実施による目標の達成度

- (1) の達成度について自己分析し、記載してください。
地域の歴史・文化風俗について聞き取りを行い、アーカイブ化を進めることができた。
- アンケート結果などから代表的な意見等を抜粋し、事業に対する客観的な評価を記載してください。
「野口の河原者の活動から、その時代をたくましく生き抜いてきたことが知れた。」

4 今後の抱負

- 事業実施後に、実施結果について振り返ったことなどを記載してください。
 - ・中世の職能民としての活躍について、より具体的に明らかにしていく。
 - ・資料・史料の収集方法や保存方法について工夫する。

事業風景の写真

オープンラーニングの様子



3. 利用料金の収入実績及び管理運営に係る経費の収支決算

1 利用料金の収入実績

令和 6 年度実績：4,201,519 円（前年度比 95.7%）

（内訳 会議室等：3,998,199 円
付属設備：203,320 円 ※自主事業分を除く
スモールオフィス：0 円）

2 管理運営に係る経費の収支決算

別紙収支決算書のとおり

4. 施設の利用者満足度の把握

1 利用者満足度の把握状況

（1）全センター共通窓口サービス調査

【実施時期】令和 6 年 1 1 月実施

【調査項目】窓口サービス

（2）センター独自アンケート

事業実施時にアンケートを実施

2 利用者満足度把握の結果

（1）全センター共通窓口サービス

たいへん満足	満足	不満	たいへん不満	無回答
16.9%	78.4%	3.9%	0.4%	0.4%

（2）センター独自アンケート

○結果の概要を可能な範囲で記載してください。（ 概ね満足 ）

3 意見等への主な対応状況

○ 利用者からの意見で対応したもの

- ① 「各部屋への案内表示が分かりにくい」→利用者目線で表示を増やした。
- ② 「窓口対応」→職員同士の連携を密にし、接遇マニュアルを共有する。

5. 指定管理者による管理運営業務の自己評価

- ・ 取り組んだ事業等の総括を記載してください。

指定管理 3 年次も終わり、提案業務に関わる各実行委員会の話し合いも順調に進めることができ、共生館内でのネットワークも進化してきた。

- ・ 今後、解決すべき課題等があれば記載してください。

運営スタッフの、積極的運用（地域へ出ていく活動）と有効活用の手立て（勤務体制）。

- ・ 次年度に向けた対応について記載してください。

指定管理最終年度として、市民活動支援について、各団体が自走化できるように担い手や人材育成・活動支援を積極的に進める。

6. その他施設の管理運営に関する重要又は異例な事項

○ 施設の管理運営（事業の実施を含む）に当たって、何か重要又は異例な事項があれば記載してください。

例）重大な事故やコンプライアンス違反等 特になし

例）年間事業計画にある事業の中で、実施できなかった事業 なし。

すべて実施。